

「2021 年度化学工学会インターンシップ」を終えて

公益社団法人化学工学会 人材育成センター高等教育委員会
吉見智之

人材育成センターでは、毎年、大学院生のインターンシップ研修希望者を募集し、研修学生を受け入れていただける企業に研修をお願いしています。本年度は31の大学院から過去2番目の101名の学生の応募がありましたが、昨年同様、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)への対応のため、研修学生の受け入れを断念する企業が多く、最終的な受け入れ企業数は昨年より2社増の13社でした。マッチング実施後、研修を実施し45名の学生が研修を修了しました。修了者には修了証が贈られます。

本会インターンシップは受入登録をしていただいた企業のご協力で、化学工学系の学生向けのテーマやコースを設定し、通常では2週間から1ヶ月の比較的長い期間の研修をおこなうのが特徴です。しかし、今年は昨年にも増して拡大したCOVID-19の影響で、多くの企業で遠隔会議システムを利用したオンライン研修で、且つ短期間になり、実地の研修ができた企業は4社に留まりました。実地での研修ができなかった学生の皆様には誠に申し訳ありませんでした。また、学生の受け入れ準備をしていただいた企業の人事や企画関係部署、インターンシップ研修を実施いただいた部署におかれては、急遽のプログラム変更やCOVID-19に対応しながらのインターンシップ研修の実施を図っていただき、誠にありがとうございました。誌面を

借りて御礼申し上げます。来年こそはCOVID-19が収まり、本来の本会インターンシップ研修ができることを願います。

さて、昨年度のインターンシップ報告会は、例年おこなっていた本会秋季大会または年会の中での開催に変え、高等教育委員会と資格制度員会の共同で、インターンシップ報告会に本会資格制度の紹介と学生向け会社紹介とを組み合わせた形のコラボイベントを『集まれ 化学工学に触れている学生諸子の会』と題してオンラインで3月に開催しました。全国どこからでも容易に参加できるオンライン開催の利点を活かして今年度もオンラインで、少し時期を早めた1月25日(火)～27日(木)の日程で『第2回集まれ 化学工学に触れている学生諸子の会』を開催し、その中で本会インターンシップの紹介と学生の体験報告をおこないます。本誌が皆様のお手元に届く頃には無事終了しているかと思えます。

インターンシップ研修を実施した学生からの一言コメントを掲載します。次年度のインターンシップに役立てていただければ幸いです。また、新たに本会のインターンシップに参加いただける企業を引き続き募集しております。是非ご検討いただき、「インターンシップ」係 (e-mail: internship_2022@scej.org) までご一報下さい。

氏名	大学名	一言コメント	研修先企業
相内 佑斗	日本大学	化学工学が、実際の現場でどう活かされるか学び、化学メーカーならではの設備との向き合い方に魅力を感じた。	(株)カネカ
青木 徳務	福岡大学	生産技術開発やプロセス開発の仕事の問題を解決する上で、専門知識を持つことの重要性や専門の異なる人と意見を出し合うことの大切さを学んだ。	(株)カネカ
赤木 空良	徳島大学	企業での化学工学の位置づけや化学工学の専門性を現場に落とし込んでいく過程を学ぶことができ、非常に有意義な時間でした。	(株)カネカ
芦田 朋也	広島大学	企業における化学工学の活用の仕方を考え、企業や他者と意見を交えることで充実した時間を過ごせた。	(株)カネカ
石躍 大成	九州大学	社員の方々との交流が多く、その場で疑問を解決できたため、業界・企業への理解を深める貴重な機会となった。	日揮グローバル(株) / 日揮(株)
石亀 みう	岩手大学	課題に対して、教科書の内容をベースとした上で数値を変換させるなど、柔軟な対応が大切だと学んだ。	花王(株)
海老澤拓郎	宇都宮大学	インターンシップを通してプラントエンジニア業界を深く理解することができ、自分がエンジニアとして何を実現したいのかを見つけることができた。	東洋エンジニアリング(株)
大谷 晴香	兵庫県立大学	インターンシップを通して、企業で化学工学の知識がどのように活かされているか知ることができた。	(株)カネカ
加藤 匠馬	東京大学	講義や4つの異なる演習を通し、受注からプラント運転までの1つ1つの業務の緻密なつながりを実感した。	月島機械(株)



Tomoyuki YOSHIMI (正会員・上席化学工学
技士)
1992年 京都大学大学院工学研究科化学工学
専攻修了、博士(工学)
現在 (株)カネカ生産技術研究所
連絡先: 〒676-8688 兵庫県高砂市宮前町
1-8
E-mail Tomoyuki.Yoshimi@kaneka.co.jp

川口 泰輝	京都工芸繊維大	実際の現場で社員の方々の働く意識や姿勢を体験することで、将来のビジョンが鮮明になり新たな考えを持つきっかけになった。	東レ(株)
紀ノ岡 健	神戸大学	工場の見学や実習を通して、企業の安全意識や作業のスピード感を学び、現場で必要とされる化学工学の重要性を実感した。	東レ(株)
杳抜 佳奈	早稲田大学	生産技術開発に参加し、実験・分析だけでなく会議にも出席させていただいた。2週間の長期にわたって温かく迎え入れていただき、大変感謝しております。	東亜合成(株)
栗原 歩大	東北大学	大学で学んでいる化学工学が実際の企業の研究開発でどのように活かされているのかを知ることができた。	花王(株)
小林 諒	京都工芸繊維大	化学工学の役割の大きさを実感し、働くイメージを掴む機会になった。	(株)カネカ
駒井 美咲	岩手大学	プラントを設計する上では、ひとつひとつの工程の最適化だけでなく、全体の工程を考えてベストを探っていくことが重要であると学んだ。	(株)カネカ
佐藤 詩織	茨城大学	製品の開発に化学工学が幅広く関わっていることを学び、化学工学を活かした生産技術の仕事が身近に感じるようになった。	(株)カネカ
篠原 芽里	徳島大学	課題を通して化学工学分野での働き方を知ることができ、実際の働き方が想像しやすくなった。	(株)カネカ
末満 秋菜	鹿児島大学	化学工場における保全部の役割について実習を通して学んだ。現地での開催だったため、現場の生の雰囲気や企業で働くということを感じることができた。	JNC(株)
高橋明日香	京都工芸繊維大	主にプロセス設計における着眼点や、化学工学を活用した解析およびシミュレーション手法を学び、プロセスエンジニアの業務内容への理解が深まった有意義な経験となった。	住友化学(株)
武田 梨沙	東京農工大学	オンライン開催でありながら、実務体験を通して企業研究員としての業務の進め方を深く知ることができた。	花王(株)
竹林 遼	東北大学	シミュレーションの具体的な計算方法や計算化学の今後について知ることができた。	(株)ダイセル
堤 大輝	関西大学	プラントエンジニアリング業界で働く上でのやりがいや仕事のスケールの大きさを感じることができ、非常に刺激を受けたインターンシップでした。	日揮グローバル(株) / 日揮(株)
富嶋 仁也	広島大学	5日間の集大成でもあるビジネスコンクールで学生優秀賞を受賞し、大変充実したインターンシップになった。	日揮グローバル(株) / 日揮(株)
鳥屋原理子	早稲田大学	企業において化学工学がどのように活かされているのかを設備のコストダウンに関する課題を通して学んだ。	(株)カネカ
中塚 祐輔	岡山大学	インターンシップを通して、会社の理解が深まった。また、生産技術者として働くイメージを持つことができた。	住友ベークライト(株)
中村 志帆	岡山大学	異なる専門分野の人と同じ課題に取り組むことで、様々な視点を知れたのが新鮮であり、チームで考える重要性を体感できた。	(株)カネカ
西垣 暁積	金沢大学	化学工学の活用に加えて、大勢の人が情報共有し協力するからこそ安全な生産活動が実現することを学んだ。	東レ(株)
野村 果音	京都工芸繊維大	新規プラント建設に関する検討やグループワークを通して、工業化における化学工学の重要性を実感した。	(株)カネカ
野本 大智	慶應義塾大学	サイトだけでは知ることができない各部署の詳細なお話やグループワークを体感でき、貴重な時間だった。	日揮グローバル(株) / 日揮(株)
橋本 裕太	静岡大学	効率化だけでなく、製品規格や安全面も考慮しつつ、工場で量産することを前提としたプロセス検討を行っており、大学の研究との違いを知ることができた。	東亜合成(株)
畑田 海晴	群馬大学	従業員の方からのお話や過去の仕事内容体験によって、カネカ様での仕事のイメージがより鮮明になった。	(株)カネカ
原田菜々子	岡山大学	製造プロセス検討から、各工程だけでなくプラント全体の最適化を考える重要性を体感した。	(株)カネカ
秘多 悠斗	宇都宮大学	インターンシップを通じ化学工学の理解が深まり、働く姿を明確に掴めたことは非常に大きな成果物であった。	住友ベークライト(株)
廣川凜理子	東京電機大学	プロセス開発業務の一部を体験して、就職後は化学工学を活かせる仕事をしたいと感じた。	(株)クレハ
牧島 美輝	鹿児島大学	製品製造工程のトラブル解明を行った。化学工学の実用性を感じて今後の学生生活への意欲向上に繋がった。	東レ(株)
松永 陸	鹿児島大学	今回のインターンシップを通じて、化学工学の社会貢献性や領域の広さを学ぶことができた。	(株)カネカ
宮本 大輝	鹿児島大学	日揮の強みとする新規事業の取り組みの多角的な展開を理解し、実習やグループワークを通しやりがい、難しさを実感できた。	日揮グローバル(株) / 日揮(株)
安井 崇人	東京農工大学	グループワークを通して業務理解を深めることができた。社員の方々が暖かく対応してくださり、有意義な体験ができた。	千代田化工建設(株)
安山 綾乃	成蹊大学	製造プロセスで活かせる知識や技術について意見交換をおこない、ご指導いただく中で効率的に考える貴重な機会だった。	(株)カネカ
山崎 皓平	鹿児島大学	ラボスケールでのオキソ反応はできる所が少ないことを知り、純粋に貴重な体験ができたことを嬉しく思う。	JNC(株)
山田 雅晃	広島大学	業務紹介や座談会など、実際の業務に対する理解を深める機会をたくさんいただき、プラントエンジニアとして働くイメージを明確にすることができた。	千代田化工建設(株)
山本菜々穂	横浜国立大学	製造プロセスの仕様決定やコスト削減の検討を通して、化学工学の役立てられる領域の幅広さを実感した。	(株)カネカ
湯川 忠二	京都工芸繊維大	プラント建設において化学工学が駆使されており、定量化やプロセス全体を俯瞰する重要性を学ぶことができた。	(株)カネカ
吉田 成秀	東京理科大学	オンライン開催であったものの、得られることが多い5日間でした。本業界に興味を持つ方にはぜひおすすめです。	日揮グローバル(株) / 日揮(株)
渡邊 智紀	広島大学	プラントエンジニアリング業界を学ぶ、会社の特徴・雰囲気を肌で感じるといった点でこのインターンシップはこの上ない機会だった。将来プラントエンジニアリング業界で働く上で貴重な体験となった。	日揮グローバル(株) / 日揮(株)